

営農ファイル

農産園芸部門

農作業メモ

ハウス胡瓜

栽培管理について：気温の上昇に伴い、葉の老化が進みます。日差しが強い時間は遮光を行って下さい。日中は、消耗を抑制するため、サイド、ツマ換気を十分に行い、温度が上がりすぎないように注意してください。サイドの二重ビニールの除去が遅れている方は、早急に取り外して下さい。

追肥・灌水について：換気している時間が長くなると、ハウス内が乾燥します。灌水量を徐々に増やし多回数灌水に努めて下さい。また、通路が乾き過ぎている場合は通路散水も定期的に行ってください。草勢が弱いようであれば、葉面散布を行ってください。病気について：病害（べと病・うどんこ病）と害虫（スリップス・コナジラミ・アブラムシ・ダニ）の防除を合わせて行って下さい。ハウス内外の除草は早急に。特にスリップスは、黄化えそ病の媒介となるので徹底防除をお願いします。

早期水稲

1.生育・水管理：浅水（水深約1cm）にしましょう。ガス発生で下葉の褐色時は田を軽く干します。

2.無効分げつ期の水管理

①中干しの励行：落水をやや早めに行い、亀裂が入る程度に干しましょう。中干しを確実にを行うことで根を活性化し、健康なイネを栽培しましょう。

②つげ苗処分によるいもち病の防止：挿植がすんだらつげ苗は早く処分しましょう。

③雑草イネ（赤米）について：川南町・都農町の水田で雑草イネ（赤米）の発生が見られます。玄米に混入すると規格外になります。見かけたらすぐにJA又は普及センターにお知らせ下さい。

【問い合わせ先】

JA尾鈴 営農指導課（27） 4504
児湯改良普及センター（43） 2311

ニラ

今作のニラもいよいよ大詰めとなっております。気温も暖かくなり、蒸散量も上がってきます。水分管理、換気には十分注意して下さい。また、スリップスの発生も見られています。徹底防除をお願いします。今作終了された生産者の方は次期作に向けてのほ場準備期間になります。残査処理をしつかり行い、次期作に残らないようよろしくお願いします。上記に併せて苗への灌水、換気も十分注意するようよろしくお願ひします。

ミニトマト

温度の上昇に伴い、葉枝も伸びてきており、換気と病害虫対策の為、混んでいる所やムレ葉などを摘葉して下さい。一度に多くの葉を取ると根傷みを起こしたり草勢が低下したり、裂果が発生したりするので、出来るだけこまめな摘葉を実施し、常時15枚程度残すよう心掛けて下さい。併せて気温や土壌の乾燥状況に気をつけながら灌水管理を行ってください。また、日差しも強くなるため果実の日焼け防止として2重ビニールを利用するようにして下さい。病気（カビ類）、害虫（コナジラミ・サビダニ等）の定期的防除を心掛けて下さい。

大玉トマト

温度の上昇に伴い、葉枝もかなり伸びてきており、換気と病害虫対策の為、混んでいる所やムレ葉などを摘葉して下さい。一

度に多くの葉を取ると根傷みを起こしたり草勢が低下したり、裂果が発生したりするので、出来るだけこまめな摘葉を実施し、常時15枚程度残すようにして下さい。併せて気温や土壌の乾燥状況に気をつけながら灌水管理を行ってください。また、日差しも強くなるため果実の日焼け防止として2重ビニールを利用するようにして下さい。病気（灰色カビ病・疫病・葉カビ病等）、害虫（コナジラミ・サビダニ等）の定期的防除を心掛けて下さい。

スイートコーン

適期収穫までの積算温度（最高温度+最低温度÷2）で計算。積算温度はゴールドラッシュの場合絹糸抽出から収穫まで45℃。4月絹糸抽出から27日程度、5月絹糸抽出から23日程度、6月絹糸抽出から19日程度が収穫期

【殺虫剤】

- プレバソフロアブル 希釈倍数2000倍 使用時期前日まで メイガ、メイチュウ
- モスピラン水溶剤 希釈倍数2000〜4000倍 使用時期前日まで アブラムシ類
- ベネビアOD 希釈倍数4000倍 前日3回 アブラムシ、メイガ、タバコガ、ヨトウ

イチゴ

気温が高く、日差しも強いいため、サイドビニール・妻面からの換気等を行いハウス内気温の上昇に注意し、適期収穫・着色基準の厳守に心がけて下さい。親株については、炭疽病対策として薬剤防除の徹底と育苗床の除草をお願いします。また、害虫（スリップス、コナジラミ等）の発生が多く見られます。苗管理の時点で徹底した防除をお願いします。

ブドウ

摘粒は2回目のGA処理後に行えば、比

較的省力的です。仕上げ摘粒が遅れそうな場合は、内向き果を中心に予備摘粒を行って下さい。密着しているため、裂果等の心配が懸念されるため、十分に注意して下さい。着果過多は、樹勢を低下させる原因になります。樹勢を維持するためにも、房の良否が判断でき次第、なるべく早い段階で適正着房数まで摘房して下さい。この時期は、ハウス・大型トンネルともに圃場内の温度が上がってきています。高温障害を発生させないように換気の徹底とこまめなかん水を午前中に行い、圃場内の温度を下げる対策を行ってください。

【防除】

- ① スイッチ（顆水）2000〜3000倍 灰色かび病・晩腐病
- ② コテツ（FL）2000倍

キンカン

樹勢回復の為に、葉面散布の実施とかん水はたっぷり行って下さい。剪定が遅れた園については、発芽を揃える為に蒸し込みを行い、発芽促進を図って下さい。蒸し込みを行う際は、ハウス内温度が30℃以上にならないよう換気を行ってください。新梢が発生し、自己摘心するまでは、一週間間隔で4〜5回葉面散布を行ってください。新梢自己摘心後は、新梢緑化促進の為、一週間間隔で3回程葉面散布を行ってください。5月下旬頃に夏秋梢伸長抑制の為、タムム水溶剤を1000〜2000倍で散布して下さい。

【防除】

- ① モスピラン（顆液）2000倍
- ② カイガラシ類・アザミウマ類・アブラムシ類
- ③ アプロード（水）1000倍
- ④ カイガラシ類幼虫
- ⑤ スプラサイド40（乳）1500倍
- ⑥ 混用 チャノキイロアザミウマ